

情報処理学会 第65回全国大会 特別トラック10
「e-Japanの進展」
「企業活動や社会生活に変革をもたらす電子政府・電子自治体」

電子自治体向けフォームベースシステムと 検索・記入・提出用ポータルサイトの構築法

図書管理システムの
現状調査部分の抜粋
(ゼミ用)

中所武司 藤原克哉

明治大学 理工学部
情報科学科

秋田大学 鉱山資源学部
情報工学科

chusho@cs.meiji.ac.jp

2003年3月27日

1

現状(2):

フォームのポータルサイト

- 電子フォームのリンク集
(例) [総務省の電子政府の総合窓口](#)
- 問題
電子フォームのダウンロードが主で、
直接電子申請できるものはまだ少ない。
(例) 川崎市の101件
 - ・ 96件：PDF形式の申請書
 - ・ 5件：電子申請

2

現状(3):

東京都23区図書館の場合

- 区役所のホームページから図書館のページまでのマウスクリック回数：平均2回弱
1回 (9) 2回 (7) 3回 (6) 4回 (1)
- 見つけやすさに差
- 検索機能：12/23
- 予約機能：5/12
- 個別開発の必要性は不明

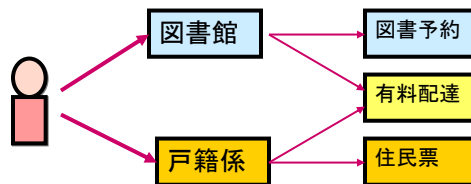
東京都23区図書館の調査データ

	クリック数	検索機能	予約機能		クリック数	検索機能	予約機能
千代田区	2	×		渋谷区	3	×	
中央区	1	○	60 登録制	中野区	4	×	
港区	3	×		杉並区	2	○	242
新宿区	1	○	176	豊島区	1	○	38
文京区	2	×		北区	3	×	
台東区	1	○	104 登録制	荒川区	1	○	78 登録制
墨田区	3	○	83	板橋区	2	×	
江東区	3	○	152	練馬区	1	○	129
品川区	3	×		足立区	1	○	115
目黒区	1	○	228 登録制	葛飾区	2	×	
大田区	2	×		江戸川区	1	○	190 登録制
世田谷区	2	×					

研究目標の例

図書予約機能に有料配達サービス機能を付加する場合

- 有料配達サービス機能の独立化
- 各種証明書の配達サービスでも利用
- サービス連携容易なシステム構成
- 業務の専門家によるサービス連携の実現



5

提案システム概要

簡単な形式で検索・記入・提出を実行
「どの部署に何をどのように依頼」

フォーム記入時に窓口担当者の説明を
ヘルプメッセージとして利用

名前や住所などの個人情報を自動記入

窓口
利用者

業務
担当者

ビジュアルツールを用いて専門知識を組み入れた
知的フォームを作成

モデリングツールを用いてサービス連携を
フォーム変換ルールとビジネスルールとして定義

6